

製品名: CPSF6 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85453

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 59 kDa; Observed MW: 70 kDa

抗原情報

遺伝子名	CPSF6
別名	CFIM; CFIM68; CFIM72; HPBR11-4; HPBR11-7
遺伝子 ID	11052.0
SwissProt ID	Q16630
免疫原	ヒト CPSF6 の合成ペプチド

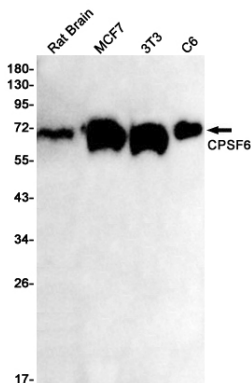
背景

切断因子 Im (CFIm) 複合体の構成要素であり、pre-mRNA の 3'末端切断およびポリアデニル化プロセッシングの活性化因子として機

能します。これらのプロセッシングは、pre-mRNA を機能的な mRNA へと成熟させるのに不可欠です (PubMed:9659921, PubMed:8626397, PubMed:14690600, PubMed:29276085)。CFIm は、pre-mRNA の 3'末端の特定の配列への多タンパク質複合体のリクルートメント、いわゆる切断およびポリアダニル化シグナル (pA シグナル) に寄与します (PubMed:9659921, PubMed:8626397, PubMed:14690600)。ほとんどの pre-mRNA は複数の pA シグナルを含んでおり、その結果、選択的切断およびポリアダニル化 (APA) が起こり、3'末端形成が可変的な mRNA が生成されます (PubMed:23187700, PubMed:29276085)。CFIm 複合体は、多数の pre-mRNA の 3'非翻訳領域 (UTR) に局在する 5'-UGUA-3' エlement に結合することで、APA における切断およびポリアダニル化部位の選択を制御する重要な調節因子として機能します (PubMed:20695905、PubMed:29276085)。CPSF6 は、pA シグナルの上流に位置する 5'-UGUA-3' エlement への NUDT21/CPSF5 の結合を増強し、RNA ループ形成を促進することで、mRNA の 3'プロセッシング機構を直接活性化する (PubMed:15169763、PubMed:29276085、PubMed:21295486)。mRNA の輸出にも関与する (PubMed:19864460)。

研究分野

画像データ



CPSF6 抗体を使用したラット脳、MCF-7、3T3、C6 溶解物中の CPSF6 のウエスタンブロット分析。